

9月9日

テーマ：「イエスさまのまえにうち明ける」

せいしよかしよ
聖書箇所：マルコの福音書5章25節～34節

◆今日のみことば

おんな おそ
女は恐れおののき、自分の身に起こったことを知り、イエスのまえに出てひれ伏し、イエスにしんじつ
あま
を余すところなく打ち明けた。
マルコの福音書5章33節

◆メッセージ

ある日イエスさまは、「わたしのちいさい娘の病気をなおしてください」と、たのみに来た男の人と歩いていました。イエスさまが病気をなおすかどうかと見ようと、たくさんの人がイエスさまの周りにいました。

その時、ひとりの女の人がついてきました。女の人はずっと病気を^{まわ}して、体がとてもいたくて、苦しかったのです。なんと、12年も。12年もずっといたいなんて、どんなにくるしいでしょうね。お医者さんに行っても、ぜんぜんなおらないのでこまっていました。イエスさまが病気の人をなおしてあげたという話を聞いて、やって来たのです。「イエスさまの着物にさわれば、わたしの病気もきつとなおる」と考えて、うしろからそっとさわりました。すると、すごくいたかった病気が直ぐになおってしまいました。

その女の人はずっと病気を^{まわ}して、体がとてもいたくて、苦しかったのです。なんと、12年も。12年もずっといたいなんて、どんなにくるしいでしょうね。お医者さんに行っても、ぜんぜんなおらないのでこまっていました。イエスさまが病気の人をなおしてあげたという話を聞いて、やって来たのです。「イエスさまの着物にさわれば、わたしの病気もきつとなおる」と考えて、うしろからそっとさわりました。すると、すごくいたかった病気が直ぐになおってしまいました。

その女の人はずっと病気を^{まわ}して、体がとてもいたくて、苦しかったのです。なんと、12年も。12年もずっといたいなんて、どんなにくるしいでしょうね。お医者さんに行っても、ぜんぜんなおらないのでこまっていました。イエスさまが病気の人をなおしてあげたという話を聞いて、やって来たのです。「イエスさまの着物にさわれば、わたしの病気もきつとなおる」と考えて、うしろからそっとさわりました。すると、すごくいたかった病気が直ぐになおってしまいました。

ところで、イエスさまは、あんまりおおぜいの人^{ひと}がいたので、だれがさわったかわからないから聞いたのでしょうか。いいえ、ちがいます。イエスさまは、病気の女の人がついてきたことも、だれがさわったのかもとっくに知っていました。でも、さわった人が自分から「わたしです」「わたしの病気がなりました」とちゃんと^いってほしかったのです。神さまは、力だけ利用するお方ではありません。一人で信じていればいいのではなく、信じていることを、感謝していることを、神さまにお伝えすることが大切^{たいせつ}です。イエスさまは、それをさせようと、声をかけられました。



その女の人はずっと病気を^{まわ}して、体がとてもいたくて、苦しかったのです。なんと、12年も。12年もずっといたいなんて、どんなにくるしいでしょうね。お医者さんに行っても、ぜんぜんなおらないのでこまっていました。イエスさまが病気の人をなおしてあげたという話を聞いて、やって来たのです。「イエスさまの着物にさわれば、わたしの病気もきつとなおる」と考えて、うしろからそっとさわりました。すると、すごくいたかった病気が直ぐになおってしまいました。

その女の人はずっと病気を^{まわ}して、体がとてもいたくて、苦しかったのです。なんと、12年も。12年もずっといたいなんて、どんなにくるしいでしょうね。お医者さんに行っても、ぜんぜんなおらないのでこまっていました。イエスさまが病気の人をなおしてあげたという話を聞いて、やって来たのです。「イエスさまの着物にさわれば、わたしの病気もきつとなおる」と考えて、うしろからそっとさわりました。すると、すごくいたかった病気が直ぐになおってしまいました。

「病気がなりました」「ありがとうございます」とイエスさまにちゃんと^いうことができた、と書いてあります。イエスさまはとても喜んで、その女の人をほめてくださいました。

あなたは、イエスさまを信じていることを、感謝していることを、イエスさまにお話^{はな}していますか。イエスさまと会話する祈りをしていきましょう。

◆お祈り

わたしは、イエスさまに何もひみつにしません。どんなことでもお祈りの中でイエスさまにお話^{はな}しできることを感謝^{かんじや}します。

(塩尻聖書教会伝道師 廣田洋子)

